

# 西 周 (Nisi Amane) 「洋字ヲ以テ國語ヲ書スルノ論」 1874

## Takeba Ryôiti yakusu.

Nisi Amane no « Rômazi de Nippongo o kaku Kangae » (1874) no 'Rômazi no 10 no Rieki' ni tuite no bubun o yakusite mimasita. (Midasi wa Takeba. Gai-raigo igai no Katakana nimo nigoriten o tukemasita.)

### 1 語学 (言語の学習)

今洋字ヲ以テ和語ヲ書ス其利害得失果シテ如何 曰ク此法行ハルレバ本邦ノ語學立ツ其利一ナリ

ローマ字で日本語を書いた場合、その利害得失ははたしてどうであろうか？この書き方が行われたならば、わが国の語学が発展する。

### 2 外国語入門

各國ノ語ニ入ルヲ得 童蒙ノ初學<sup>マツ</sup>先 國語ニ通ジ既ニ一般事物ノ名ト理トニ通ジ次ニ各國ノ語ニ入ルヲ得 且同ジ洋字ナレバ彼ヲ見ル既ニ怪ムニ足ラズ 語種ノ別語音ノ變等既ニ國語ニ於テ之ニ通ズレバ他語ハ唯記性ヲ勞スル耳 是入學ノ難易固ヨリ判然タリ 其利二ナリ

各国語に入りやすい。こどもは、日本語 (日本語) を身につけて一般のものごとの名と意味とがわかっているならば、次に各国語に入りやすい。また、同じラテン文字だから、外国語をみても違和感がない。語種 (品詞か?) の区別や発音のちがいは、すでに日本語において理解しているので、外国語はただ記憶するだけである。初級の学びやすさは はっきりしている。

### 3 言文一致

言フ所書ク所ト其法ヲ同ウス 以テ書クベシ以テ言フベシ即チレキチュアトーストヨリ會議ノスピーチ法師ノ説法皆書シテ誦<sup>ズ</sup>ズベク讀<sup>ン</sup>デ書スベシ 其利三ナリ

話すのと書くのが同じなる。そのまま書けるし、そのまま話せる。講演、会議の発言、宗教家の説法も、書いたとおりに読み上げられ、読んだとおりに書ける。

### 4 ABC 26 字母

アベセ二十六字ヲ知り <sup>イキシク</sup> 苟 <sup>テイジ</sup> モ綴字ノ法ト呼法トヲ學ベバ兒女モ亦男子ノ書ヲ讀ミ鄙<sup>ひ</sup>夫モ君子ノ書ヲ讀ミ且自ラ其意見ヲ書クヲ得ベシ 其利四ナリ

ABC 26 字母を知り、少なくともつづり方と発音法を学べば、兒女 (女こども?) も男性の書き物を読み、鄙夫 (いなかの人?) も君子 (知識人) の書いたものを読み、その上自分の意見を書くことができる。

### 5 横書きの採用

方今洋算行ハレ人往々之ヲ能クス 之ト共ニ横行ス 其便知ルベシ 而テ大藏陸軍等既ニブウクキーピンクノ法ヲ施行ス 之ト共ニ横行字ヲ用ユ 直ニ彼ノ法ヲ取ルノミ 其利五ナリ

ちかごろは西洋式計算法が行われ、多くの人が使いこなしている。それと共に横書きが行われる。その便利さを知るべきである。さらに大蔵省や陸軍などでは簿記を実施している。それにしたがって横書きを用いている。ただちにその方法を採用すべきである。

### 6 ヘボン辞書・ロニ会話集

近日へボンノ字書又仏人ロニノ日本語會アリ 然ドモ直チニ今ノ俗用ヲ印シ未ダ其肯綮<sup>コウケイ</sup>ヲ得ズ 今此法一タビ立タバ此等亦一致スベシ 其利六ナリ

## 7 著述・翻訳の便利

此法果シテ立タバ著述翻譯甚便リヲ得ン 其利七ナリ

## 8 印刷

此法果シテ立タバ印刷ノ便悉ク彼ノ法ニ依リ其輕便言フ計ナカルベシ 彼國ニテ此術ニ就テ發明スル所アレバ其儘ニテ用フベシ 其便八ナリ

## 9 學術用語

翻譯中學術上ノ語ノ如キハ今ノ字音ヲ用フガ如ク譯セズシテ用フベシ 又器械名物等ニ至テハ強テ譯字ヲ下サズ原字ニテ用フベシ 是其利九ナリ

## 10 日本人の性質の美点

此法果シテ立タバ凡ソ歐州ノ萬事悉ク我ノ有トナル 自國行フ所ノ文字ヲ廢シ他國ノ長ヲ取ル 是瑣瑣服飾ヲ變ルノ比ニアラザレバ我ガ國人民ノ性質善ニ從フ流ルハガ如キノ美ヲ以テ世界ニ誇リ 頗<sup>スコブル</sup>彼ノ膽ヲ寒ヤスニ足ラン 是其利十ナリ

最近へボンノ辞書、フランス人ロニ L. Rosny の日本語會話集(1865)が出た。しかしながら、ただちに現在の日常の文書をしるすには、まだ一般の賛同を得ていない。もしローマ字書きが実施されれば、いろいろな書き方も一致するようになるであろう。

ローマ字化が実際に行われれば、著述、翻訳にはなほだ便利なものとなるであろう。

もしローマ字化できたなら、印刷術は ことごとく西洋の方法を取り入れるので、その便利さは言うまでもない。向こうで印刷技術に関して発明があれば、そのまま用いることができる。

翻訳文の學術語などは、今の字音の漢語のように、訳さずに用いるべきである。器械や産物などにいたっては無理に訳さず、もとのことばのまま用いるべきである。

ローマ字化が実現すれば、ヨーロッパの万事が日本のものとなる。自国の使ってきた文字をやめて外国の長所を取り入れる。これは単に衣服を変えることとは比べられないようなことであるから、わが国民の性質が善にしたがう、流れるような美点によって世界に誇り、大いにかねらの胆をひやすに十分な決断であろう。

Kono ato ni 「然ラバ果シテ害アルナキヲ得ンヤ」 to site, Rômazi ni natta baai no Gai ga mittu dake agerarete imasu. Yaya *kiraku* na giron ni omowaremasu ga.

筆と墨の店がしごとを失う。害の1である。しかし、筆墨肆<sup>ひつぼくし</sup>は3大都市などに少しあるだけだ。文字改革はゆるやかに行われるから、ほかの業に移るいとまがある。紙の製造を改めなければならない。害の2である。すでに西洋紙製造所を建てる計画がある。漢学者流、国学者流がこの主張を聞けば、大いにくみねたむかもしれない。害の3である。(略) こどもは初めに国語を学び、中学以上で漢語を習う。漢学の教師は西洋の拉丁語<sup>ラテン</sup>・希臘語<sup>ギリシア</sup>の学師のようなものである。…